Market Letter 情報提供資料

4月1日の米国株式市場の下落について

新型コロナウイルスによる米国での死者増加を不安視

2020年4月2日

米国での感染拡大が継続、今後の死者数に厳しい予測も

4月1日（現地、以下同様）の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数がそれぞれ4.4%程度下落しました。米国において新型コロナウイルスによる死者が4000人を超え、2001年9月の同時テロによる死者を上回ったことや、トランプ大統領が3月31日の記者会見で、行動制限などの対策を講じたとしても死者が10万人～24万人に達する恐れがあると示し、今後「とても厳しい2週間に向かう」と述べたことで、投資家の不安心理が高まりました。民間の雇用者数や企業の景況感を示す指数など、4月1日発表された米国経済指標は、事前の見通しほどには悪化しませんでしたが、調査時期などの関係で新型コロナウイルス問題がまだ十分に反映されていないと解釈され、市場ではあまり材料視されませんでした。

米国における新型コロナウイルスの日々の感染者数は、まだ増加傾向にあり予断を許さない状況です。一方、欧州で最も累計の感染者数が多いイタリアでは、日々の感染者数が減少に転じたとの見方が強まりつつあります。イタリアが感染抑制に成功すれば、現在まだ感染拡大が続いている他の欧米諸国についても、いずれは感染が抑制されるとの観測が強まり、市場も感染拡大ピークアウト後を織り込み始める可能性があると考えられます。

米国の株価指数と長期金利

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。